

モニタリング調査が 地域の人々とできる “理由” わ け

NPO法人 里山自然学校はずみの里

NPO法人 里山自然学校はずみの里

1. 青少年健全育成事業

- ①放課後学童保育
- ②地区の子供教室

2. 環境調査事業

3. 自然体験・環境学習事業

- ①川の水質調べ
- ②森の学校
- ③キノコの植菌

今年で10年目を迎えたNPO法人です



モニ1000調査地の樺の沢



樺の沢は典型的な里地・里やまです

樺の沢の調査項目



植物相



鳥類



水環境



中・大型哺乳類

**カヤネズミを
除く8項目
です**



カエル類



チョウ類



ホタル類



人為的インパクト

「樺の沢集落」と「はずみの里」の関係

樺の沢地区で中山間直接支払制度を活用するに
於いて、制度の申請要件に

**自然生態系の保全に関する他機関との連携が
求められていたため**

当法人との間で自然生態系の保全回復に関する
連携に付いての協定書を平成18年7月に交わした

樺の沢集落の特徴

特徴1

中山間直接支払制度適用に係る
樺の沢水系集落との協定が存在
したこと(中山間の組織が有りまとまり易い)

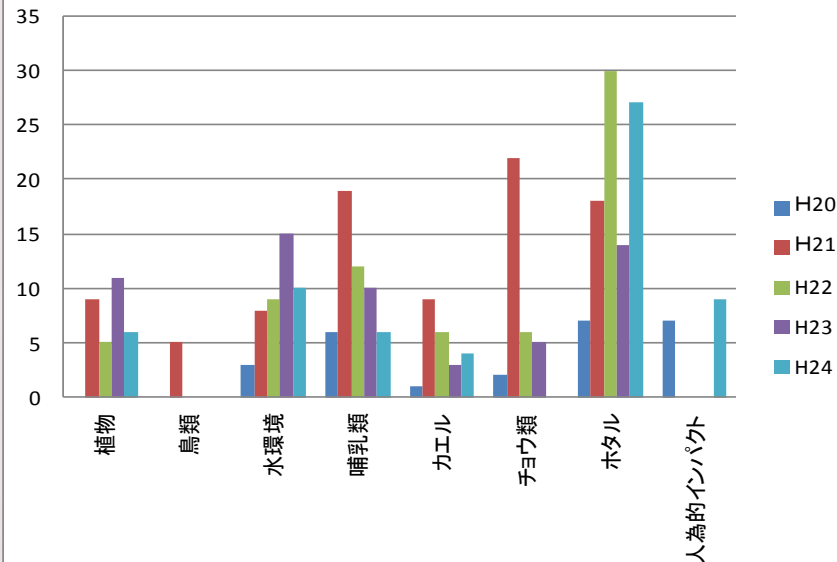
特徴2

多様な考えの人がいるけれども理解し興味を
持って協力してもらえる人がいる

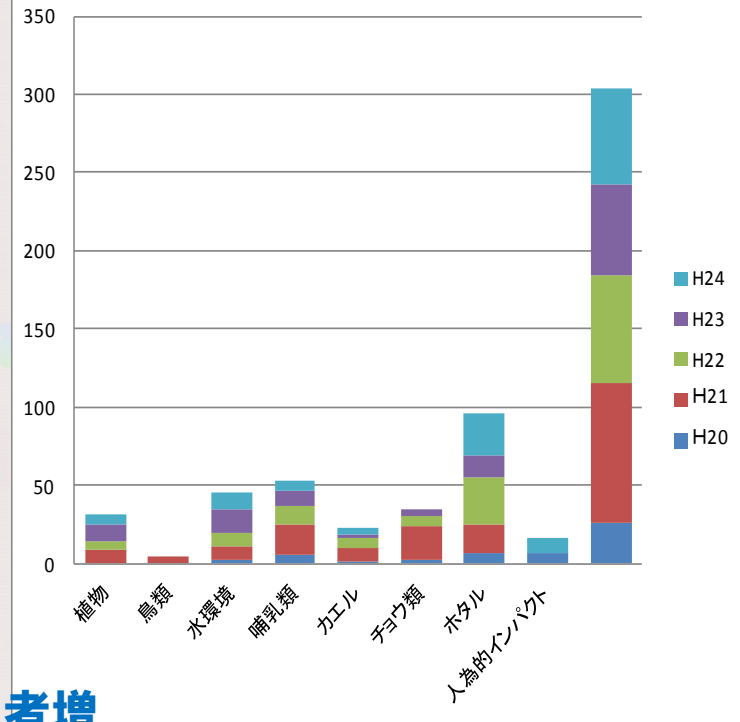
(住んでいる地域にホタルが生息している事や、用水として
利用している水環境などの自然環境に興味がある)

これまでの調査への参加状況

地域住民の調査参加者推移
(調査項目別 年度別)



調査参加者(延べ人数)



- 開始2年目のH21年は興味と義務感で参加者増
- 鳥とチョウは不人気
- ここ2～3年の年間の参加延べ人数は50～65人程度
その半数はホタルの調査

樺の沢での展開(初期)

コーディネーター (NPO法人 はずみの里)



コーディネーターとしての役割(その1)

コーディネーター (NPO法人 はずみの里)

3年目以降

中山間の事務局

工夫や提案①

興味

責任感

達成感

調査項目の分担

工夫や提案 ①

- ・地域が協力できる調査項目の選定
- ・調査時期に幅を持たせる
- ・参加の無理強いをしない
- ・調査協力に対する適切な評価(参加人数の把握)
- ・水環境、ホタル、カエルの調査主管の移行の検討

樺の沢水系集落住民

コーディネーターとしての役割(その2)

コーディネーター (NPO法人 はずみの里)

3年目以降

中山間の事務局

工夫や提案②

興味

責任感

達成感

調査項目の分担

工夫や提案 ②

- ・調査協力に対する適切な評価(参加者の把握)
- ・調査協力に対する適切な対価の提供
- ・調査結果を年度末に報告する機会を持つ
- ・一部の調査項目の完全移管を試行

樺の沢水系集落住民

コーディネーターとしての役割(その3)

コーディネーター (NPO法人 はずみの里)

3年目以降

興味

責任感

達成感

中山間の事務局

調査項目の分担

ホタル、カエル、水環境の調査主管の移行

工夫

- ・適切な評価(参加者の把握)
- ・適切な対価の提供
- ・年度末に調査結果の報告
- ・水環境調査の完全移管

樺の沢水系集落住民

樺の沢での展開(最近)

コーディネーター (NPO法人 はずみの里)

水環境の調査主管
の完全移行

中山間の事務局

連携の強化

興味

責任感

達成感

調査項目の分担

連携

- ・調査に係る質問や疑問に常に対応する
(具体的にはホタルと水の関係、地域版植物図鑑の監修など)
- ・お互いに尊重し合い信頼関係を損なわない

樺の沢水系集落住民

- ・総合感冒薬は無い
- ・基礎体力を養うこと

最近の調査の様子

- ・地元メディアも同行しての植物(木本)調査の様子



- ・人為的インパクト調査
植生図作成(色区分)
の様子



- ・同時進行で昼食の準備
・調査完了後の会食風景



意識の変化



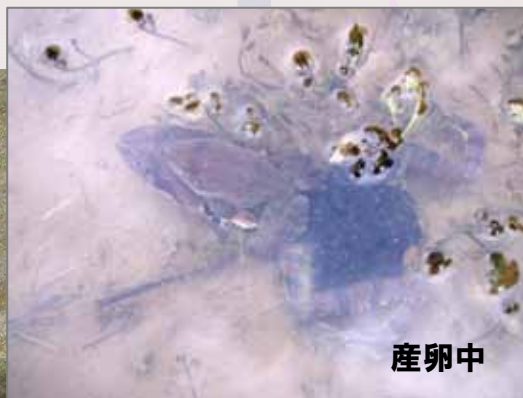
- ・地域版の植物図鑑を作ってしまった
（集落公民館に寄贈、最近第2版を執筆）
- ・水環境調査の完全移行が行えた
（田んぼに使う用水に関心が高くなった）
- ・調査によって生き物に気づき大切に守る意識のめばえ
（はじめは中山間直接支払の義務と感じていた）

波及効果(その1)

自然観察指導員(ネットワーク岩手)の研修会場として活用される



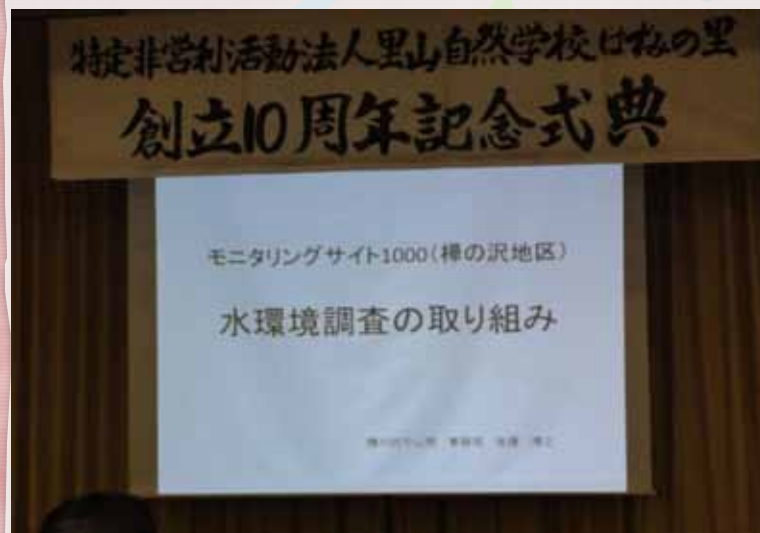
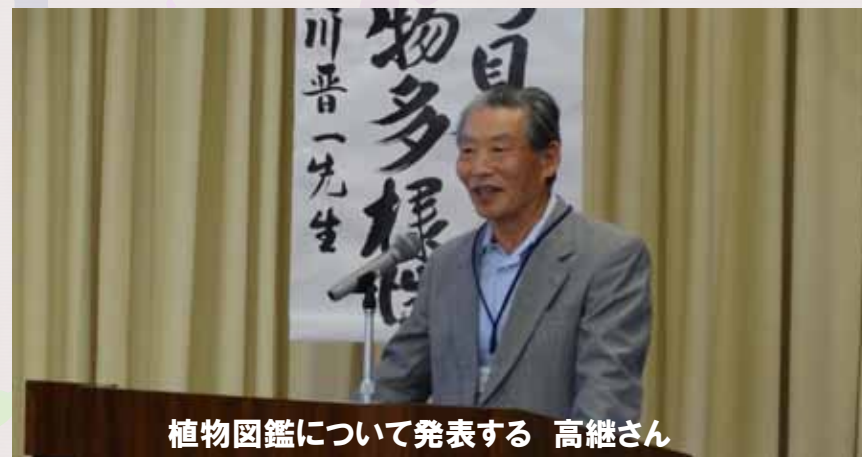
早春のアカガエルの調査研修の様子



産卵中



波及効果(その2)



当法人の10周年記念事業に於いて
モニ1000調査に関する地域の人々が
その発表を引き受けてくれた

調査項目と位置関係

難易度（知識・対応力）

興味（親近感）

調査回数（負担・辛さ）

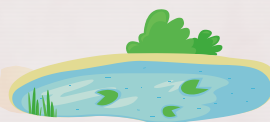


PCの環境が
少ない



望ましい 位置関係

難 易 度 (知識・対応力)



調 査 回 数 (負担・辛さ)

興 味 (親近感)

課題

・興味や関心のある
人の総合力を引き出
すこと(調査日に都合を
合わせる事の難しさ)



無理強いしないこと

・次世代の構成員が
少ない
(三世代で構成する家族
が少ない)



とりあえず待つ

ありがとうございました

